

# かほく ワークシート

## 河北春秋

「国民に敬愛され、明るい希望をくれた人」。それが国民栄誉賞の唯一の規定だ。これまでの受賞者23人・団体中、11人がスポーツ関係者。スポーツが、常にその時代の国民の喜びであったことを示す▼圧倒的に強く、優れた記録を残しただけではない。受賞者にはどこか違うオーラがある。柔道の山下泰裕さん（1984年受賞）は「強くなればなるほど優しくありたい」と言った。「人への感謝の気持ちも、自分の力になる」はマラソンの高橋尚子さん（2000年）の名言▼2人とも五輪での金メダルは一つだけ。その頂点のために費やした長く、つらい練習の日々が珠玉の言葉を生み出したのではないか。人々にまがい物ではない力を与えてくれる▼リオデジネイロ五輪のレスリングで優勝し、女子で史上初の4連覇を達成した伊調馨さん（八戸市出身）が国民栄誉賞を受賞する。申し分ない実績なのに記者会見では「自分のレスリング人生は50点」と控えめに喜びを表した▼謙虚さと向上心が彼女の身上。やり切っていないという思いはあろう。東京五輪に向けては「自分が何をしたいのかもう少し時間をかけて考えたい」。それでも、5連覇への挑戦が見たい。4年後までそんな希望を抱かせる選手は、他に誰一人としていないのだから。（2016・9・14

(2016年9月14日河北新報朝刊)

- ①今回、国民栄誉賞を受賞することになったのは誰ですか。
- ②彼女はどのような功績をあげたのですか。
- ③以前の受賞者、山下泰裕さんの「強くなればなるほど優しくありたい」高橋尚子さんの「人への感謝の気持ちも自分の力になる」という言葉には、お二人のどのような気持ちが込められているのだと思いますか。考えて、それぞれ書きましょう。

山下泰裕さん：

高橋尚子さん：

年 組 名前

(中学生／朝の会前の10～15分)